めぐニュース

かぐめよし少年自然の家だより　令和６年１月発行

まずは、地震等で被災された方々に、心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復興をお祈り申し上げます。

前号では福智山の紹介をさせていただきましたが、今回は「かぐめよし」の地名について・・・

「かぐめよし」は漢字で「頂吉」と書き、難読地名として上位に数えられるそうです。

「頂む」とは「かごむ」若しくは「かぐむ」と読み、頭上に物を載せるという意味。

福岡県企救郡誌　七重の滝欄に「頂吉という地名の起源は、本村というところの上なる谷川の中に在る岩の上に大岩重り、其の岩と岩の中に僅かなる石を挟み、其の大岩を頂めたる形有るにより、頂石の號（よびな）在りと云う。何時の頃よりか、頂吉の文字に書なしけむ。」

という記述があります。要約すると「地名の由来は、本村というところのさらに山あいの谷川のなかにある大きな岩が重なっている場所があり、岩と岩の間に小さな石が挟まっていて、まるで小さな石が大きな岩を頭の上に載せているように見えることから、この石をかぐめ石と呼ぶようになった。後に頂吉と書かれるようになった。」ということでしょうか。

この本村という場所について地域の方に尋ねてみたところ、本村は吉原の下流側で、屋敷とよばれる地区との間の地区であり、「その上なる谷川」とは山の神川のことだろうとのことでした。

今、頂吉林道沿いにある「かぐめ大岩」こそが「かぐめ石」であると・・・。

以上、かぐめよしの地名の由来でした。

今年も、野外での体験活動の場としてみなさま方の期待に応えられるよう、所員一同頑張ってまいりますので、よろしくお願いいたします。

頂吉図鑑 ～第34回～

茜（アカネ）

今回ご紹介するのは、茜（アカネ）です。かぐめよしでは、河原やサイクリングロードの日当たりの良い場所で見かけます。

アカネはもともとは、赤根からきた名前です。根を掘ってみると赤というよりも橙色です。まるでニンジン。この根を乾燥させて煮だして染料をとり、布を染めると茜色になります。茜色とは辞書［広辞苑］によると、赤色のやや沈んだ色、暗赤色とあります。赤く染まる染料はとても貴重であったことから枕詞になったのでしょうか？

万葉の歌人　額田王の有名な歌

「あかねさす紫野行き標野行き野守は見ずや君が袖振る」

がありますが、アカネとムラサキ、二種類の植物が出てくる素敵な歌ですね。アカネはつる性の植物で茎に逆さ向きのとげがありザラザラしています。断面が四角で特徴的なので覚えやすい植物です。葉は同じところから四枚出ているため輪生に見ますが、このうち２つは托葉といって葉柄の基部につく付属物で葉身（通常葉と呼ぶ）ではありません。こんなにそっくりなのに葉でないなんて、なにか深い理由があるのでしょうか。

アカネを見るたびにこの不思議な托葉に見入ってしまいます。見分けがつくか挑戦してみませんか？

秋になると黒い実がたくさんなります。果実酒になると書いてある本がありますがどんな味がするのでしょうか・・・

主催事業のお知らせ　１月～３月

	事業名	時期	対象者・人数
１月	第５回かぐめよし自然少年団	１月13日（土）～ １月14日（日）	かぐめよし自然少年団 に所属する団員
	親子でワクワク！工作教室	１月21日（日）	小中学生とその保護者３家族
	「竹チッパーって何だ！」 放置竹林対策事業	１月27日（土）	18歳以上　10名
２月	家族みんなでだんらんラン！	２月10日（土）～ ２月11日（日）	６家族
	第３回ボランティア研修会	２月25日（日）	施設ボランティア
３月	第６回かぐめよし自然少年団	３月９日（土）～ ３月10日（日）	かぐめよし自然少年団 に所属する団員

※ 応募は市政だよりをご覧になり、お申込み下さい。

北九州市立かぐめよし少年自然の家
住所：〒803-0267
北九州市小倉南区大字頂吉451-1
電話：(093)451-3111　FAX：(093)451-3133
ホームページ：http://www.kagumeyoshi.com/

主催事業報告

第２回観天望気学習キャンプ

冷たい空気の代わりにドライアイスを使い、冷たい空気と温かい空気がぶつかると、前線ができたり雲が発生したりする様子を観察しました。

さらに、秋の観天望気なので台風にスポットをあて、ドライヤーで低気圧を発生させて台風を作り、台風ができる仕組みを学びました。また、所内の草木を観察しながら、天気や季節の変化と植物の関係も学びました。みんな仲良くなり、楽しみながら天気の勉強をすることが出来ました！

秋の福智山登山

気持ちの良い秋晴れの中、「秋の福智山登山」を開催しました。前半は、きつい登り坂ですが、稜線ではススキの穂が揺れる中に、きれいに咲き誇るリンドウを見る事が出来ました。何度見ても、素敵な花ですね！

主催事業の登山は、年に二回開催しています！

次回の春の福智山登山は、子どもの日です。ぜひ一度、親子で登ってみませんか？

第２回はじめての陶芸教室

２回目の陶芸教室では、素焼きの終わった作品にやすりをかけて仕上げをした後、釉薬がけ。色見本を見ながら、焼き上がりを想像し、思い思いの釉薬をかけていきました。そして、今年、例年と大きく違うのが土鈴の本焼き。釉薬をかけず、「炭化焼き締め」をするため、隊長の説明を聞きながら、鉢に作品と藁を詰め込む作業を見学しました。

世界にたった一つ、自分たちで作ったお皿やコップ。食卓で活躍しているのかな？

第４回かぐめよし自然少年団

今年から始まったかぐめリンピックも、２回目。ロープワークの問題などを解決するごとに、班で協力し合い助け合い、たくましく成長しています。

２日目は雨の中カッパを着て、福智山への登山口「月の平」まで秋の植物を観察しながら散策しました。隊長の解説に、団員たちは、かぐめの自然に深く関わることが出来ました。

市民センター職員等研修会

８市民センターより参加していただいた市民センター職員等研修会。まずは、自然素材のクリスマスリースを作りました。その後の昼食では、むかごご飯など、旬を感じる食材を使った料理を楽しみ、センター間で交流をすることができました。午後の散策では、紫川の起点へ行き、かぐめよしの自然に親しみました。

クリスマスリース作り

今年のクリスマスリース作りは、３家族が参加。長い長いクズのツルを綺麗に巻くのにみんな一苦労。土台が出来たら、いよいよ飾り付け。みんな思い思いに木の実などを付けていきました。子どもたちは真剣そのもの。そして目をキラキラさせながら作業をする姿が印象的でした。昼休みもそこそこに、作業開始！時間いっぱいまで、飾り付けを楽しんでいました。

手作りリースとともに、素敵なクリスマスは過ごせたかな？

ぺったんぺったんお餅つき

正月事始めが始まる前の１２月９日～10 日に６家族が集まり、しめ飾り作りとお餅つきをしました。しめ飾り作りでは、稲わらを初めて触った参加者もいて、わらをなうのに苦労していましたが、どの家族も、とても素晴らしいしめ飾りが出来上がっていました。お餅つきでは、みんなでお餅をペッタンペッタンとつき、いちご大福、黄粉餅、よもぎ餅など沢山のお餅を食べて楽しく過ごしました。

頑張ってついたお餅、美味しかったですね！！

ボランティア研修会（秋編＆合同餅つき）

施設ボランティアで活躍していただいている【やまめ】。ボランティアとしての資質向上を図るべく、年に数回の研修会を実施しています。『秋編』では、少年団でも行ったカヌーのプログラムを行い、実践を通して交流を深めました！

年末には、恒例となった施設ボランティアの合同餅つき大会を行いました。杵を振るい、餅を頬張り、2023 年最後の主催事業は、賑やかな研修会で締めくくりました！これからも、たくさんの主催事業へのご参加お待ちしています！